

(5) 調べ学習

資料を使って、調べよう

荒川区立第三峡田小学校図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 小学校6年生(社会科)
2	実施時期 : 平成23年7月～11月
3	概要 : 国立国会図書館国際子ども図書館員、荒川区教育委員会学校図書館支援室と共同で、調べ学習の授業を有効に進めるための選書の方法、実際の選書、資料の使い方を考察する。
4	内容 <ul style="list-style-type: none">① 授業者との話し合い(時期、教科、内容、児童の実態などを聞き、選書の参考とする)② 一次選書(国際子ども図書館員、荒川区教育委員会学校図書館支援室と連絡を取りながら、選書する)③ 資料集め(学校図書館、荒川区立図書館から資料を集める)④ 実際の資料を見ながら、授業者との話し合い、一時選書の検討⑤ 二次選書(話し合いによって得られた情報をもとに、資料を増減)⑥ 選書された資料を教室に配置(資料を常に近くに置き、児童の自主的な事前学習を促す)⑦ 授業者による調べ学習の授業実践(学校図書館指導員は資料の準備、資料探しの補助)⑧ フィードバックミーティング <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"></div>
5	参加者の反応【教師の感想】 数多くの資料(検討を重ねた選書)を用意することで、子どもたちは個々の課題を最後まで追求することができた。また、調べた結果を自分の言葉でまとめ、わかりやすく表現した作品ができ上がり、それぞれの作品を見て学びあうこともできた。
6	連携した諸機関 国立国会図書館国際子ども図書館(選書) 荒川区立荒川図書館(資料収集) 荒川区教育委員会学校図書館支援室(選書、資料収集、授業準備) 鎌田和宏先生(帝京大学准教授)(プロジェクト主査) *フィードバックミーティングにおいて「協同作業を行うことでそれぞれの役割がより明確になった、今後の取り組み方の指針になる」との意見が出た。